

令和4年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	4	議席 番号	18	氏名	諏訪部孝敏議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	自治会活動の動向と重要性について			<p>少子高齢化の進行や、市民の価値観及びライフスタイルの多様化などによって、地域における人と人のつながりが弱まっている。これに伴い、町内会及び自治会の加入率が年々減少するなど、地域コミュニティの活力低下や地域を支える人材不足が深刻化していると感じるが、現状について以下伺う。</p> <p>(1) 自治会活動の動向について伺う。</p> <p>① 令和4年4月1日時点での自治会加入率について伺う。</p> <p>② 自治会加入率の5年間の推移について伺う。</p> <p>③ 自治会別の加入率の特徴をどのように捉えているか伺う。</p> <p>④ 人口減少や世帯の推移に伴い、自治会活動に変化はあったのか。</p> <p>(2) 自治会活動の重要性と期待するものは何か伺う。</p> <p>① 少子高齢化及び人口減少を迎えるに当たり、自治会の重要性をどのように捉えているか伺う。</p> <p>② 自治会を存続させていくには、まず加入促進が必要と考えるが、これまでの加入促進の活動と現状について伺う。</p> <p>③ 市全体で必要な支援と、地域特性に合わせた支援が必要と考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>④ 今後の自治会活動に期待するものは何か伺う。</p>		市長 副市長 関係部長
2	ヤングケアラーの現状について			<p>大人に代わって日常的に家事や家族の世話をするヤングケアラーについて、小学校5年生から高校3年生を対象に行った実態調査の結果が公表されたが、富士宮市の現状について伺う。</p> <p>(1) 県が初めて実施したヤングケアラー調査結果について、富士宮市の現状を伺う。</p> <p>① ヤングケアラーが原因で学校を遅刻、早退又は不登校になっている児童生徒は何人いるのか伺う。</p> <p>② 該当する子どもたちへの支援体制について伺う。</p> <p>③ ヤングケアラーの早期発見のためには、学校の役割は大変大きいと思うが教育長の考えを伺う。</p> <p>④ 県は支援を行うコーディネーターを市町へ派遣しているが、支援体制の取組及び受入れについて伺う。</p>		市長 教育長 関係部長
3	部活動の地域移行について			<p>公立中学校の部活動を学校から地域に移行していくため、スポーツ庁の有識者会議は、対応策をまとめた提言を室伏長官に提出した。提言では、公立中学校の運動部の部活動について、来年度から2025年までの3年間を目標に、まずは休日から段階的に地域や民間クラブなどへ移行していくとしているが、以下伺う。</p> <p>(1) 部活動を地域に移行させることで得られるメリットについて伺う。</p> <p>(2) 学校と地域が協働、融合した部活動の具体的な実現策について、早期に取り組む必要があると思うが、教育長の考えを伺う。</p>		市長 教育長 関係部長